

皆様のご支援により「銅メダル」(6,042票)を 獲得することができました!

(公職選挙法上、当選の御礼は差し控させていただきます)



患者さん手回の
ダルマに自入の

自転車街宣隊

選挙戦を振り返って

今回の選挙では後援会カイドの配布を最小限にとどめ、2期8年間の実績と3期目に向けた政策(マニフェスト)の配布と周知に努めました。選挙は「いかに自分を売り込むか」の勝負であり、企業や支援者宅を訪問する「訪問販売」、インターネットによる「通信販売」、マニフェストの配布による「広告・宣伝活動」に力を入れました。その過程で自ら歩き、多くの方とお会いして実績と政策を理解していただいた結果、「銅メダル」を達成することができたと考えています。今回、事務所開きもできない小さな事務所です。私はひたすら外回り、家内は事務所留守番という夫婦二人三脚の地味な選挙戦を見かねて、少数精鋭のスタッフが集まり、多くの方のご支援もいただきました。そして、蓋を開けてみれば上位当選を果たすことができ、やはり選挙のスタイルを変えたことは間違っていないかったと感じています。今後とも「お願い」から「約束」へ、政策重視の選挙スタイルに変化するものと期待しています。

また、選挙啓発活動として駅前ではチラシを配布したり、福山マラソンではスーツを着て「投票に行こう!」というタスキをかけて10kmの部を走ったりもしました。選挙期間中はもっぱらロードレーサータイプの自転車を駆り街宣活動を行いました。自転車のゆえに多くの有権者と直接触れ合うことができ、有意義であったと感じています。



福山マラソン

会派(水曜会に所属)

5月1日、新たな任期がスタートしました。
議内会派が再編され、
私は最大会派「水曜会」に入りました。

- | | | |
|--------|--------|-------|
| 小川 眞和 | 小林 茂裕 | 早川 佳行 |
| 神原 孝己 | 瀬良 和彦 | 熊谷 寿人 |
| 千葉 荘太郎 | 五阿 彌寛之 | 高田 健司 |
| 今岡 芳徳 | 大田 祐介 | 榊原 則男 |
| 連石 武則 | 木村 秀樹 | |

計14名(年齢・期数順)

初議会(民生福祉委員会・委員長に就任)

5月14日・15日に初議会が開催されました。議長に小林茂裕議員、副議長に須藤猛議員が選出されました。その他、各常任委員会・特別委員会の委員長の選出も行われ、私は「民生福祉委員会」の委員長に選任されました。

民生福祉委員会では下記の事務を取り扱います。福山市の医療・福祉行政の充実に全力で取り組みます!

- | | |
|---|----------------|
| ①. 民生福祉行政について | ②. 障害者施策について |
| ③. 高齢者施策について | ④. 保健行政について |
| ⑤. 保育行政について | ⑥. 市民病院の運営について |
| ⑦. 所管に係る建設工事
(300万円以上)及び業務(100万円以上)の入札結果について | |

特別委員会は「競馬事業特別委員会」に配属されましたので、競馬事業の存続問題に取り組んでまいります。

経済レポート平成24年5月1日号掲載の記事より

祐介の目



大田ゆうすけ No.8
(福山市議会議員)

毎月1日号に掲載

投票率の低下について

今回の市議選の投票率は過去最低の49・11%であった。新聞等では「有権者の関心を呼び込めなかった」「争点がなかった」という論調であったが、市議選とは白か黒かという争点よりも、いかに良い議員を選ぶかという選挙だと私は感じている。

いずれにしても、我々立候補者の魅力不足やPR不足を痛感している。しかし、マスコミは議会批判をしても、議員個々の活動を紹介することはまず無い。さらに、有権者の責任も重大ではないかという、NPO法人「広島まほろばの会」の松田さんの意見を紹介したい。

「低投票率は『投票したい議員がない』『誰を選んでも』という、何か『誰かのせい』という感覚が蔓延した結果ではないか。有権者が今やサービス受給者感覚、責任や義務を果たさずに権利ばかり主張する『傍観者意識』が高まっているように感じる。

した。福山市の現在と未来の責任が自分にあるとは微塵にも感じていない人が多いのだろう。民主主義制度において、『責任者はあなた自身です』という事を初等教育から教えないと、とつとつとひどい事になる。投票で選んだ議員や政党が意に反すると『騙された』という人もいるが、むしろその人は騙した側であり、為政の責任を一身に負っていたらだかなく困る。

以上が松田さんの意見だが、議員もその資質を高める努力を忘れてはならない。議員は選挙に通らさずすればなれる(勉強して資格試験に通る必要が無い)。だからこそ当選後の勉強が必須であり、新人議員の方にはぜひ「議員力検定」に挑戦してほしいものだ。その気になれば政経塾への参加や、社会人大学院への通学もできる。そのような姿勢が見えないと、選挙は就職活動であったのかと誤解される。

結局、投票率の低下は議員、マスコミ、有権者の3者の共同責任であることは間違いない。大阪市の橋下市長のよう、政治は大人の「喧嘩」であり、選挙は「戦い」であるといった、有権者が選挙に行きたくなくなる「面白さ」を引き出すことも必要だ。

大田ゆうすけ市政報告会

日時：6月23日(土)16時～
会場：大田記念病院4階会議室
(駐車場は病院駐車場をご利用ください)
会費：500円
ゲスト：ジャーナリスト・笹 幸恵さん
著書『女ひとり玉砕の島を行く』(文藝春秋)
『「日本男児」という生き方』(草思社)
※ 今後は1月の新年会に加えて、6月にも市政報告会を開催する予定です。



笹 幸恵さん

報告1 福山の医療・福祉行政について

民生福祉委員会の委員長に就任したことを踏まえ、福山市の諸課題について説明します。

- ① 市民病院の増改築について
- ② 福山・府中地域救急支援診療所について
- ③ 生活保護の実態について
- ④ 高齢者福祉施設の整備について

報告2 震災がれきの受け入れ・ホテル火災の対応について

- ① 震災がれきの広域処理の問題、気仙沼市等の被災地の聞き取り調査を行った結果、福山市までの輸送コストを考えると、福山市におけるがれき処理は非現実的です。
- ② ホテル・プリンス火災後の緊急火災予防査察結果等、今後の行政対応について報告します。

報告3 海外戦没者の遺骨収容について

私は福山歩兵第41連隊の海外の戦跡を調査してきましたが、昨年フィリピンのレイテ島の山中にその激戦地跡を発見しました。おそらく多くの遺骨も眠っていると思われます。GPSで位置も特定されており、DNA鑑定により遺族に遺骨をお渡することも可能かもしれません。備後の郷土部隊の歴史に光を当てるべく努力してまいります。

あとがき

私が取り組む医療・福祉等の社会保障の問題、戦後の歴史の清算の問題、いずれも国の方向性により大きく左右される問題です。今年中には衆院選があると思われませんが、しっかりと「国家観」を持った国会議員が待望されます。私は立候補を予定されている小林史明さんに期待しています。
夏には市長選もあります。前回のような投票率(29%)では市民から信任されたとは言い難いでしょう。皆さん、投票に行きましょう!

